

「牧師の書斎」のエレミヤ書 10 章に付け加えられる内容

1. 「ヘヴェル」 הָבֵל

● _____

以下、付加部分

● 「ヘヴェル」(הָבֵל)という語彙をギリシア語にすると「ケノス」(κενός)です。使徒パウロも偶像礼拝者に対して、次のように述べています。

【新改訳 2017】エペソ人への手紙 5 章 5 節

5 このことをよく知っておきなさい。淫らな者、汚れた者、貪る者は**偶像礼拝者であって、**

こういう者はだれも、キリストと神との御国を受け継ぐことができません。

6 **だれにも空しいことばでだまされてはいけません。**

こういう行いのゆえに、神の怒りは不従順の子らに下るのです。

7 ですから、彼らの仲間になってはいけません。

8 あなたがたは 以前は闇でしたが、今は、主にあって光となりました。光の子どもとして歩みなさい。

● 6 節の「空しいことば」の「空しい」が「ケノス」(κενός)です。「空しいことば」でだます背後にいるのはサタンです。人はこのサタンの支配の闇の中に閉じ込められているのです。ですから 8 節で、「あなたがたは 以前は闇でしたが、今は、主にあって光となりました。光の子どもとして歩みなさい。」と言っているのです。それは「光の子どもとして歩む」ために、主である**キリストは復活された(よみがえられた)事実がある**からです。

①【新改訳 2017】I コリント人への手紙 15 章 10 節

ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは**無駄**(κενός)にはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。働いたのは私ではなく、私とともにあった神の恵みなのですが。

②【新改訳 2017】I コリント人への手紙 15 章 14 節

そして、キリストがよみがえらなかつたとしたら、私たちの宣教は**空しく**(κενός)、あなたがたの信仰も**空しい**(κενός)ものとなります。

③【新改訳 2017】I コリント人への手紙 15 章 58 節

ですから、私の愛する兄弟たち。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは、自分たちの労苦が主にあつて**無駄**(κενός)でないことを知っているのですから。

④【新改訳 2017】ピリピ人への手紙 2 章 16 節

いのちのことばをしっかりと握り、彼らの間で世の光として輝くためです。そうすれば、私は自分の努力したことが**無駄**(κενός)ではなく、労苦したことも**無駄**(κενός)でなかつたことを、キリストの日に誇ることができます。

● **偶像礼拝の本質**は、パウロによれば「**ストイケイア**」(στοιχεῖα)です。それは「もろもろの霊、幼稚な教え、

世を支配する諸霊」であり、「空しいだましごとの哲学、人の言い伝えによるもの」です。

【新改訳 2017】コロサイ人への手紙 2 章 8 節

2:8 あの**空しい**(κενός)**だましごとの哲学**によって、だれかの捕らわれの身にならないように、注意しなさい。それは人間の言い伝えによるもの、この世の**もろもろの霊**(στοιχεῖα)によるものであり、キリストによるものではありません。

2. 主こそ最高に賛美されるべき方

●ところで、「**ヘヴェル**」(Ἡβη)という名詞は、アダムの双子の息子である「カインとアベル」の「**アベル**」(Ἀβελ)とは同じ子音を持つ綴りです。なぜ「空しい」という意味を持つ「アベル」と名づけられたのでしょうか。実は、ここに神のご計画における不思議さがあります。アベルはカインによって殺されてしまった空しい存在のように見えますが、これは神のご計画における預言的なたとえです。というのは、アベルがささげた羊は神に受け入れられて、義とされました。ところが、カインのささげものは神に受け入れられず義とはされませんでした。この話は、アベルがイエシュアの型を、カインはイエシュアを殺したユダヤ教の指導者たちの型を表すとえなのです。

●アベルが「空しい」という名前を与えられたのは、神の御子イエシュアが贖いのための代償的な死と葬りと陰府まで下って行く姿を表しています。一見、サタンの死が勝利を治めたかのように見えたが、神はサタンの力の砦である死を打ち破って、イエシュアをよみがえらされました。それゆえに、イエシュアは「最初のアダム」を終結させ、「最後のアダム」となって「いのちを与える御霊」となられたのです。このように新しい創造をなしてくださったのです。

【新改訳 2017】エレミヤ書 10 章 6 節

【主】よ、あなたに並ぶものはありません。あなたは大きいなる方。

あなたの御名は、力ある大きいなるものです。

●6 節だけを見ると、抽象的に見えます。しかしキリストの贖いの事実を知るならば、神である主こそ最高に賛美されるべきお方として見えて来るのです。

キリストの贖いの一連の出来事

